

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 きもと (略称 KIMOTO)
コード番号 7908 URL <http://www.kimoto.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木本 和伸
(氏名) 安田 茂

TEL 03-3354-0321

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,570	△7.1	421	65.6	329	57.2	167	270.9
23年3月期第1四半期	5,995	23.5	254	—	209	—	45	—

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 152百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △230百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.27	—
23年3月期第1四半期	1.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	26,663	18,365	68.9
23年3月期	27,679	18,319	66.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 18,365百万円 23年3月期 18,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	6.3	980	31.3	1,030	52.8	610	109.1	22.87
通期	26,100	5.3	2,100	36.9	2,210	45.8	1,210	45.0	45.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	27,386,282 株	23年3月期	27,386,282 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	710,868 株	23年3月期	710,868 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	26,675,414 株	23年3月期1Q	26,675,424 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(6) 重要な後発事象	P. 8
4. 補足情報	P. 9
(販売の状況)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

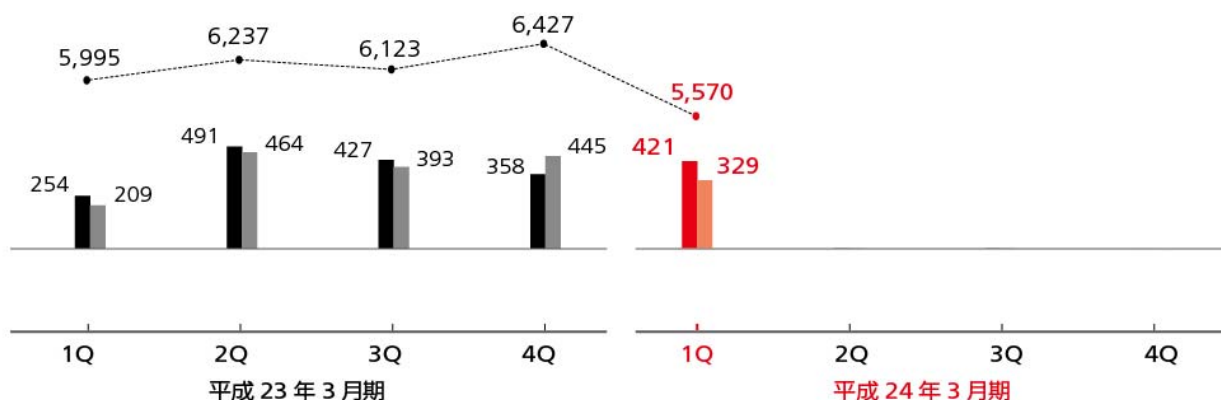
当社グループは、当連結会計年度よりスタートした第三次中期経営計画に基づき、タッチパネル用ハードコートフィルムを中心としたフラットパネルディスプレイ向け製品を戦略製品と位置付け、その開発と販売に注力してまいりました。営業面においては、エレクトロニクス製品の世界的な製造拠点である東アジア地域をターゲットとして積極的な営業を展開いたしました。また、グループを挙げた経費削減を継続し、経営効率のさらなる改善を進めております。

スマートフォンの世界的な需要拡大を背景に、主力製品のタッチパネル用ハードコートフィルムに加え、タッチパネル製造時の保護用として工程用粘着フィルムの販売が好調に推移しました。しかしながら、官公庁向け地理情報サービスの受注が減少したことにより減収となりました。利益面においては生産性向上と経費削減効果により大幅な増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,570百万円（前年同四半期比7.1%減）、営業利益は421百万円（同65.6%増）、経常利益は329百万円（同57.2%増）、四半期純利益は167百万円（同270.9%増）となりました。

四半期毎の連結業績推移

売上高 営業利益 経常利益 単位：百万円



セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 日本

主力製品であるタッチパネル用ハードコートフィルムに加え、工程用粘着フィルムの販売が好調に推移しました。官公庁向け地理情報サービスの受注が減少したことにより減収となったものの、生産性向上と経費削減効果により大幅な増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,939百万円（前年同四半期比5.1%減）、営業利益は427百万円（同91.3%増）となりました。

② 北米

新規市場向けハードコートフィルムの売上が増加しましたが、既存市場向けハードコートフィルムの売上が減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は317百万円（前年同四半期比41.2%減）、営業損失は19百万円（前年同四半期の営業利益は20百万円）となりました。

③ 東アジア

工程用粘着フィルム及び液晶バックライト用反射フィルムの販売が大幅に伸びたことで売上が増加しましたが、地理情報サービスの受注が大きく減少したことにより減益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は173百万円（前年同四半期比32.4%増）、営業利益は15百万円（同32.8%減）となりました。

④ 欧州

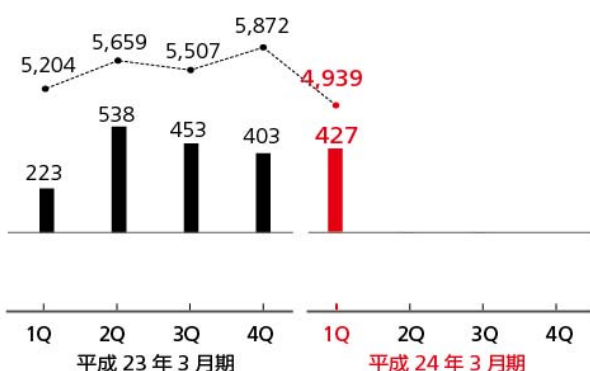
中小型インクジェットプリンターの販売は不調でしたが、液晶バックライト用部材加工の受注が伸びたことにより売上が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は139百万円（前年同四半期比16.4%増）、営業損失は11百万円（前年同四半期の営業損失は14百万円）となりました。

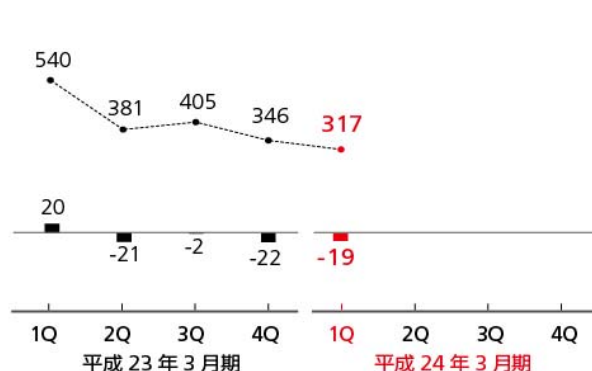
四半期毎のセグメント別業績推移

売上高 営業利益 単位：百万円

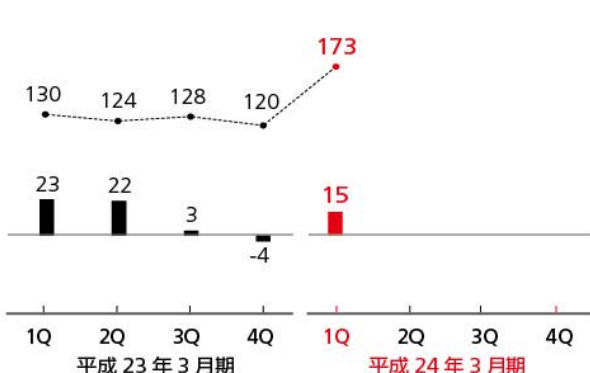
日本



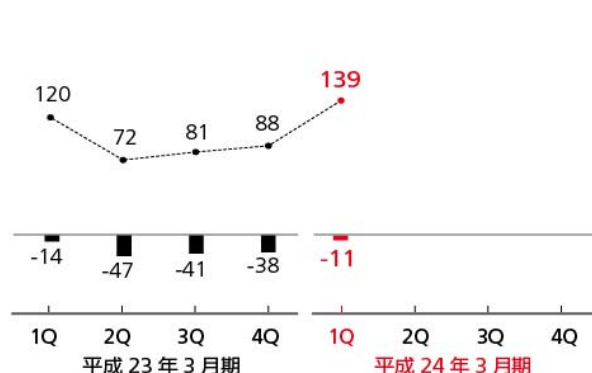
北米



東アジア



欧州



(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。なお、比較増減額はすべて前連結会計年度末を基準としております。

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ1,016百万円減少し、26,663百万円となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少760百万円、有価証券の減少300百万円であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ1,062百万円減少し、8,298百万円となりました。主な変動要因は、未払法人税等の減少584百万円、賞与引当金の減少252百万円であります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ45百万円増加し、18,365百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加60百万円、その他有価証券評価差額金の減少33百万円であります。これらの結果、自己資本比率は68.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力分野であります電子・工業材料事業においては、当第1四半期に一部生産調整が見られたものの、ハードコートフィルムを中心とする電子・工業材料製品はFPD(フラットパネルディスプレイ)用途向けに引き続き需要が拡大していくものと予想しております。また、高付加価値製品を中心とする生産体制の強化及び品質の向上の取り組みによる利益率の改善についても一定の成果が出てまいりました。

これらの結果、平成23年3月期決算発表時(平成23年5月13日)の連結業績予想(平成24年3月期)は変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,185	8,119
受取手形及び売掛金	6,436	5,676
有価証券	300	—
商品及び製品	659	707
仕掛品	692	880
原材料及び貯蔵品	397	554
繰延税金資産	281	282
その他	145	158
貸倒引当金	△41	△39
流動資産合計	17,056	16,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,168	4,077
機械装置及び運搬具（純額）	1,788	1,662
土地	1,411	1,411
建設仮勘定	28	28
その他	246	240
有形固定資産合計	7,643	7,420
無形固定資産		
ソフトウェア	195	167
その他	43	43
無形固定資産合計	238	210
投資その他の資産		
投資有価証券	1,725	1,661
繰延税金資産	493	516
長期預金	300	300
その他	279	271
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産合計	2,741	2,692
固定資産合計	10,623	10,322
資産合計	27,679	26,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,833	3,786
1年内返済予定の長期借入金	391	391
1年内償還予定の社債	135	135
未払法人税等	753	168
賞与引当金	402	150
役員賞与引当金	9	—
その他	1,018	841
流動負債合計	6,544	5,474
固定負債		
社債	62	62
長期借入金	1,166	1,126
退職給付引当金	1,499	1,546
長期預り金	59	65
その他	28	22
固定負債合計	2,816	2,824
負債合計	9,360	8,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,274	3,274
資本剰余金	3,427	3,427
利益剰余金	12,296	12,357
自己株式	△313	△313
株主資本合計	18,685	18,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149	115
為替換算調整勘定	△514	△495
その他の包括利益累計額合計	△365	△380
純資産合計	18,319	18,365
負債純資産合計	27,679	26,663

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	5,995	5,570
売上原価	4,453	3,967
売上総利益	1,542	1,602
販売費及び一般管理費	1,288	1,181
営業利益	254	421
営業外収益		
受取利息	2	3
有価証券利息	0	3
物品売却益	9	12
株式割当益	6	—
その他	8	6
営業外収益合計	26	25
営業外費用		
支払利息	9	7
為替差損	59	109
その他	2	0
営業外費用合計	71	117
経常利益	209	329
特別利益		
固定資産売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	3	—
ゴルフ会員権売却益	20	—
特別利益合計	23	0
特別損失		
固定資産廃棄損	1	0
投資有価証券評価損	157	6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7	—
特別損失合計	166	6
税金等調整前四半期純利益	66	322
法人税等	21	155
少数株主損益調整前四半期純利益	45	167
四半期純利益	45	167
少数株主損益調整前四半期純利益	45	167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	△33
為替換算調整勘定	△209	18
その他の包括利益合計	△275	△14
四半期包括利益	△230	152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△230	152
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	東アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,204	540	130	120	5,995	—	5,995
セグメント間の内部売上高 又は振替高	273	46	28	0	348	△348	—
計	5,477	586	159	121	6,344	△348	5,995
セグメント利益又は損失(△)	223	20	23	△14	253	1	254

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引消去3百万円、棚卸資産の調整額△2百万円です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	日本	北米	東アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,939	317	173	139	5,570	—	5,570
セグメント間の内部売上高 又は振替高	247	34	14	0	296	△296	—
計	5,186	351	187	140	5,866	△296	5,570
セグメント利益又は損失(△)	427	△19	15	△11	413	7	421

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引消去8百万円、棚卸資産の調整額△2百万円です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(販売の状況)

事業区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	
	外部顧客への売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)	外部顧客への売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)
電子・工業材料	4,202	35.4	4,264	1.5
グラフィックス	1,020	△3.9	814	△20.2
産業メディア	531	△8.8	429	△19.3
情報システム	241	129.1	61	△74.4
合 計	5,995	23.5	5,570	△7.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。